



実践団体・プラン基本情報

必要に応じてセル（表の枠）の高さを調整していただいて構いません。

ただし「実践団体・プラン基本情報」全体で 4 ページ以内に収めてください。

実践団体の基本情報

記入日	西暦 2025 年 1 月 11 日（2024 年度のチャレンジプラン）
プラン名	ゲームで防災力をレベルアップ！ 生成 A I で災害モンスターカードを創ろう！
実践団体名	災害モンスター研究所
代表者名	石橋健次
電話番号	080-4363-8339
メールアドレス	bashi@mui.biglobe.ne.jp
実践団体の説明 団体の来歴や特徴などを書いてください	当団体は「エンタメで世界の防災力をレベルアップ！」をミッションに、防災に関心の低い「レベル 1 の村人」が防災教育に触れる機会創出と、より本格的な教育への架け橋となることを目指しています。 災害のリスク等をキャラクター化した「災害モンスター・サイガモン®」の特性や弱点を知ること、防災力を楽しく高めるコンテンツを企画・運営・販売。 遊び・ASOBI に防災・BOSAI を忍ばせ、楽しいイベントが行われる空間に、恐怖心を煽らない防災教材を届けることで、「レベル 1 の村人」への防災啓発を推進します。
所属メンバー	石橋健次（災害モンスター研究所 所長）
活動の本拠地	千葉県柏市
活動開始時期・結成時期	2023 年 7 月
過去の活動履歴・受賞歴 これまで行ってきた活動や受賞歴（チャレンジプラン以外も含む）をご記入ください	・ Ledge.ai CHALLENGE2023 発想部門 優秀賞 ・ Ledge.ai CHALLENGE2023 実装部門 審査委員賞 ・ 柏の葉イノベーションフェス ハツメイノハ 2023 優勝 ・ NAGANO スマートシティコミッション ビジネスプランコンテスト 2023 ファイナリスト ・ 信州ベンチャーサミット 2024 ビジヨナリー賞



プランの基本情報

プランでの実践主体	13. 個人
プランの運営側の人数（実数）	1 人
プランの活動地域	① 千葉県：柏市柏の葉地区・近隣小学校、柏市、市原市、長生村 ② 長野県：長野市更北地区、長野市長野駅東口公園 ③ 東京都：江東区そなえりあ東京 ④ 小学校：千葉県柏市柏の葉、東京都板橋区立第十、長野県信州大学付属
プランの防災教育の対象者	3. 小学生（低学年） 4. 小学生（中学年） 5. 小学生（高学年） 6. 中学生 10. 教職員・保育士等 11. 保護者・PTA
防災教育の対象者の人数（実数）	約 1700 人：スタンプラリー1500 人、ワークショップ 200 人
プランが対象とする災害	9. 災害全般
プランの活動目的	1. 防災意識を高める 4. 遊び・楽しみの要素を入れた防災 7. 災害対応能力の育成 10. その他（防災を楽しむ心）
対象者が身につく知識・技能等	3. 災害時に発生する課題・影響 6. 平時に行う被害を出さないための備え 7. 災害発生時に身の安全を確保するための行動
プランの活動形態	1. イベント・行事 2. 講習会・学習会・ワークショップ 4. 総合的な学習（探求）の時間
プランでの連携先	1. 学校・教育関係 3. 保護者・PTA 4. 町会・自治会 5. 自主防災組織 6. 消防団 7. それ以外の地域組織 8. 国・地方公共団体 10. 企業・産業関係 12. NPO 16. 個人
実践にかかった金額	50 万円未満



プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4 月	助成金額不明のため対応 保留	無料のデジタルスタンプラ リーを利用したコンテンツ の作成	① スタンプラリーの実践 @千葉県柏市北柏町会 @千葉県柏市柏の葉エリア
5 月	助成金額不明のため対応 保留	・ ドローン団体と連携協議 ・ 柏市防災安全課と打合せ	① スタンプラリーの実践 @千葉県柏市柏の葉エリア ② NHK 総合・チャレンジ！ BOSAI 取材対応
6 月	助成金額の変更に基 づき、利用するデジタルス タンプラリーのシステム を有料版から無料版に変 更	・ 柏の葉、防災教室打合せ	① 東京大学災害対策トレー ニングセンター 防災キ ャンプでのテストプレイ ② 全国防災関係人口ミート アップ第 174 回での発表
7 月	プランの方向性変更 防災マップ作り→防災を 楽しむ心の育成	・ 柏の葉、防災教室打合せ ・ 防災国体、参加手配	① リスク対策.com で発表 ② スタンプラリーの実践 @そなえりあ東京
8 月	千葉県柏市の予算で有料 版のデジタルスタンプラ リーの利用が可能に	・ 打合せ、長野市更北地 区でのスタンプラリー ・ 柏市防災安全課と打合せ ・ オリジナルカード創作の ワークショップ企画	① 防災教室（カード作り） @柏の葉 ② スタンプラリーの実践 @千葉県柏市柏の葉エリア ③ 全国防災関係人口ミート アップ第 183 回での発表
9 月		・ 柏の葉・防災教室振返り ・ 柏市防災安全課と打合せ ・ 池袋防災イベント打合せ ・ 中間発表の準備 ・ スタンプラリー設定	① 防災教室（カード作り） @板橋区立第十小学校 ② 日経新聞・取材対応 ③ スタンプラリーの実践 @千葉県柏市総合防災訓練
10 月		・ ぼうさいこくたい交流団 体との連携	① スタンプラリーの実践 @ぼうさいこくたい熊本 @長野市更北地区



			@池袋イケサンパーク @柏の葉 ② 防災教育交流フォーラム 参加・中間発表 ③ ぼうさいこくたい参加
11 月	2024 年度活動の振り返り & 2025 年度方針の作成 ➡防災教育 CP2025 応募	・長野スマートシティ協議 会と防災連携の打合せ ・板橋区立第十小学校コ ミニティスクール委員会参加	① 防災教室@長野市信州大 学付属小学校 ② スタンプラリーの実践 @長野駅東口公園
12 月		NPO 全国商店街まちづくり 実行委員会メンバーとの防 災計画	① 防災教室（カード作り） @千葉県市原市消防学校 @千葉県長生村村役場 ② 全国防災関係人口ミート アップ第 201 回での発表
1 月		① NPO 全国商店街まちづ くり実行委員会メンバ ーとの防災計画 ② 2025 年度の千葉県防災 セミナー協議 ③ 消防士キッチンカー団 体との連携協議	① 信州ベンチャーサミット での防災啓発活動の発表 長野県下企業との防災連 携交流
2 月		浜田山防災イベント打合せ	① 防災教育チャレンジプラ ン活動報告会
3 月	2025 年度計画の立案	収支決算報告書の提出	① 防災教室 @東京都杉並区浜田山小学校 ② 防災イベント @東京都港区 AI×ファシリテーション ×“おもてなし”



実践したプランの内容

必要に応じてセル（表の枠）の高さを調整していただいて構いません。

複数の実践についても、該当するセル内に簡潔にまとめて記載してください。写真や図表等を入れてもかまいません。ただし「実践したプランの内容」全体で10ページ以内に収めてください。

プラン全体の概要

どのような目的のプランか、どのような方法でどのような成果が得られたのかについて、200字～600字程度で記載してください。

写真や図表を入れても構いませんが（文字数には含みません）、特徴的なもの2～3枚程度にしてください。

目的：従来の防災訓練には参加されなかった「防災に関心が低い人々」をターゲットとしてフォーカスし、防災を「特別な日にだけ行うもの」から「遊びに忍ばせた日常の取組み」にする防災教育プログラムの開発と効果的な運営手法を探求しました。



チャレンジプランを開始するにあたり、防災教育関係者のニーズを様々な団体との交流を通して調査した結果、「災害モンスター」という特徴あるキャラクターコンテンツを所有する当方に対しては「防災に対する興味・好奇心・探求心を醸成」させ、「防災を楽しむ心を育む」プログラムの開発と効果的な運営手法の確立が求められていることを把握できました。

そこで、遊び感覚で気軽に参加できる防災ゲームや、従来とは異なるテーマの防災ワークショップを複数企画・実践することで、集客力や参加者の反応・評価を検証し、有効かつ再現性のあるプログラムと運営手法を模索しました。



当団体の特徴である「災害モンスター」のキャラクターを活用した「アソビ防災」推進策として、開発した以下の2種類の教育プログラムとその運営ポイントを発表します。

1. 防災デジタルスタンプラリー

危険スポット・安全スポットの实地確認&防災クイズ



2. オリジナルの災害モンスターカード制作 :

災害イマジネーションを高め、モンスターで表現





プランの「チャレンジ」の結果

プランにおいて「何がチャレンジ」なのか、1年間の活動でそのチャレンジがどのような結果・成果を生み出したかについて、200字～600字程度で記載してください。

写真や図表を入れても構いませんが（文字数には含みません）、特徴的なもの 2～3 枚程度にしてください。

防災に関心の低い「レベル1の村人」が防災教育に触れる機会創出と、より本格的な教育への架け橋となることを目指し、遊び感覚で参加できる防災ゲームや、目新しいテーマによるワークショップを複数企画・実践・検証を行い、有効性の高い運営手法の確立を模索しました。

結果、今年度のトライアルの中では以下2点のプログラムにおいて「集客効果・学習効果・満足度」の総合的なバランスの良い結果が認められました。

1. 防災デジタルスタンプラリー

千葉・東京・長野で累計8回開催、約1,500名参加。

集客において「災害モンスターレーディングカード」を景品とし、複数カードを陳列したブースを設けることで、子供の注目・関心を獲得、保護者を含めたファミリー単位での参加につながりました。

複数企画のうち、特に「桜祭り・ショッピングモール・ヒーローショー・花火大会」とのイベント連動は、防災に関心の低い方々の参加率上昇の観点において有効性の高いアプローチ方法であることが確認されました。

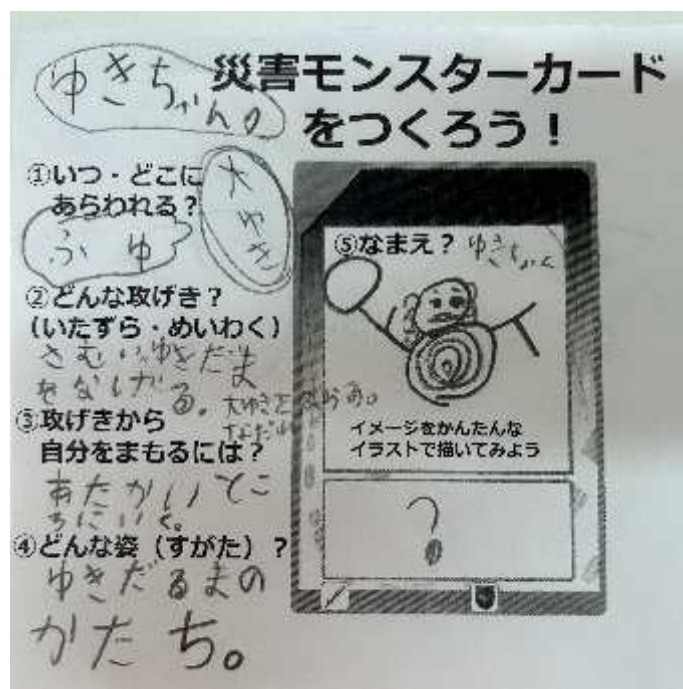
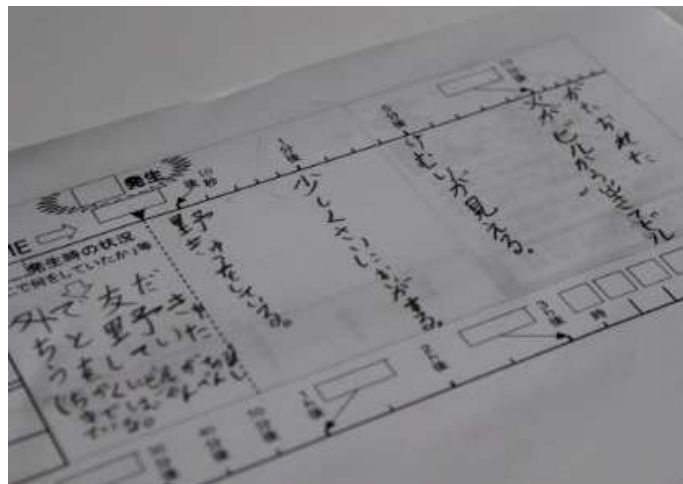




2. 災害モンスターカード制作ワークショップ

千葉・東京で累計4回開催、約200名参加。

目黒巻により時系列で変化する様々な災害状況を想像後、イメージしたシーンであられる危険や困難をモンスターの攻撃と位置づけ、オリジナルの災害モンスターの姿・特性・対策を考えてもらい、キーワードやイラストをフォーマットに書き込んでもらいました。作成にあたり目黒巻を組み合わせることで、想像の幅が広がり、発災直後の1次被害のみならず、多様なモンスターが誕生しました。





実践内容・方法・成果

これを読んだ人が同様の活動を行えるように具体的に詳しく書いてください。どのような成果が得られたのかについてもまとめてください。写真や図表を入れても構いません。

このセルの字数制限、写真・図表枚数制限はありませんが、「実践したプランの内容」全体で 10 ページ以内に収めてください。

実践が複数になる場合には、それぞれについてこのセル内に簡潔にまとめて記載してください。

1. 防災教育関係者のニーズ調査

以下の関係団体との交流を通し、当方に期待される取り組みのニーズを調査しました。

- ① 防災教育チャレンジプラン委員
- ② 全国防災関係人口ミートアップ
- ③ みんなの社会共創対話
- ④ 東京大学災害対策トレーニングセンター

その結果、下記のニーズを把握いたしました。

- ① 防災イベントの参加者を増やしたい、参加者の固定化・偏りを解消したい。
- ② 防災に関心が低い人々の防災意識を向上させたい
- ③ 災害モンスター研究所には「楽しい・ゲーム・日常の遊び・画像生成 AI 活用・創造的实践」のキーワードで表される教育プログラムの開発を期待



2. 防災デジタルスタンプラリー

予算の有無により以下 2 つのシステムを選択しました。

- ① 無料サービス・RALLY <https://rallyapp.jp/>
- ② 有料サービス・ご当地ミッションラリー
<https://missionrally.rogaining.space/gotouti-lp/>



参加率・満足度を高める設営・運営ポイントは以下 5 点

- ① スポット設置場所はイベント会場内に留め広げ過ぎない
- ② 「目立つスポット・クリアが簡単なミッション」が参加導入のキッカケとなりやすい
- ③ 防災クイズなどはパネルで提示することで親子と一緒に内容確認できるため、スマホ単体よりも高評価
- ④ 動画視聴型の防災クイズ、1 分超は避ける
- ⑤ ゲーム開始のための情報入力は最小限に抑える



3. 災害モンスターカード制作ワークショップ

- 1) 災害状況イメージトレーニングツールである目黒巻を使用し、時系列で変化する災害状況を想像させます。

目黒巻		発生		10 秒		1 分後		5 分後		10 分後	
記入日		TIME	発生時の状況 どこで何をしていたか、等								
設定											
季節	天気										
時刻	:										
記入者											
立場											
		20 分後	30 分後	40 分後	50 分後	1 日後	2 日後	3 日後	時		
のりしろ											

参考：[http://risk-mg.iis.u-](http://risk-mg.iis.u-tokyo.ac.jp/meguromaki/_src/1350/meguro_maki.pdf)

[tokyo.ac.jp/meguromaki/_src/1350/meguro_maki.pdf](http://risk-mg.iis.u-tokyo.ac.jp/meguromaki/_src/1350/meguro_maki.pdf)



	2) 次に、想像したシーンであられる危険や困難をモンスターの攻撃と位置づけ、オリジナルの災害モンスターの姿・特性・対策を考えてもらいます。モンスターの設計図フォーマットに、キーワードやイラストで表出させます 3) 最後に設計図に記載した情報を chatGPT などの生成 AI に「モンスターのイラストを描いて。●●で▲▲のような■ ■で××をしている様子」など依頼します。
--	--

プランにおける工夫：プランを实践する上で、下記について具体的に工夫をしたことはありますか。

該当するものについて具体的な例を挙げながら記入をしてください。

この項目は任意項目であり、全てを埋める必要はありません。当てはまるもののみ記入してください。

1. 【準備段階】 <u>運営側の担当者を決める際の工夫</u>	
2. 【準備段階】 <u>地域のキーパーソンと連携する際の工夫</u> 例：自治会と連携をした	柏の葉エリアで地域住民の活動拠点になっている柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）のコーディネーターと連携により、自身の独自の企画だけでなく、他団体の企画に協働の形で複数のイベントに参画・実践が可能になった。
3. 【準備段階】 <u>運営側を組織化</u>	



する際の工夫	
4. 【準備段階】 <u>対象者や対象地域の範囲を決める際の工夫</u> 例：活動範囲を限定した	防災教育関係者・団体からのアドバイス・ヒアリングを通して、自身に求められる活動のテーマを確認し、方向性を修正した。
5. 【準備段階】 <u>準備時間を確保する際の工夫</u>	
6. 【準備段階】 <u>活動場所を確保する際の工夫</u>	柏の葉エリアにある柏の葉アーバンデザインセンターの活動団体として登録することで、同施設を無料で使用
7. 【準備段階】 <u>活動資金を確保する際の工夫</u>	
8. 【準備段階】 <u>知識や情報を収集する際の工夫</u> 例：専門家による勉強会を開いた	防災教育関係者や小中学校の教員が集う勉強会に参加し、教育に関わる課題感の共有や、解消に向けた新たな取組みを勉強した。
9. 【準備段階】 <u>教育・訓練プログラムや教材を作成する際の工夫</u> 例：web サイトを引用した	・災害モンスターのイラスト作成において、chatGPT による画像生成 AI を利用した。 ・各種防災ゲームの作成においては、詳しい説明を必要としないシンプルなものを中心に心掛けた
10. 【実行段階】 <u>経験豊富なアドバイザーを確保する際の工夫</u> 例：実行委員に助言を求めた	活動エリアである地域住民の特性や、他の地域活動団体やその内容に詳しい柏の葉アーバンデザインセンターのコーディネーターに助言を求めた
11. 【実行段階】 <u>地域の理解を得て関係機関と連携する際の工夫</u> 例：行政・自治会等と共催した	① 柏の葉アーバンデザインセンターは官民学連携による地域のハブ組織として機能するため、同センターのコーディネーターとの共催企画とすることで、地域からの理解・参加を獲得できた ② 自治体主催の企画に協力する形で参画・実践を行った
12. 【実行段階】 <u>活動時間を確保する際の工夫</u>	
13. 【実行段階】 <u>活動経費をなるべく抑える際の工夫</u> 例：必要物品を消防署から借りた	① 地域団体が主体的に企画するイベントに、協力者として参画することで、少ない自己負担で多数の企画実践が可能 ② 自治体が企画する防災訓練の支援として企画することでデジタルスタンプラリーのシステム利用料を自治体が負担



	③前述のスタンプラリーシステムについて、自治体イベント終了後の環境・データを2次利用させてもらうことで、価格交渉を行い、正規価格に対して低額で利用が可能になった。
14.【実行段階】 <u>他の実践団体と交流する際の工夫</u>	
15.【継続段階】 <u>後任者を育成する際の工夫</u>	
16.【継続段階】 <u>活動で得られた知識・経験を、かたちにまとめる際の工夫</u>	
17.【継続段階】 <u>活動の成果を外部に発信する際の工夫</u>	マスメディアの記者に定期的に活動情報をインプットすることでイベント実施時の取材や報道につなげた
18.【継続段階】 <u>活動内容を見直す際の工夫</u> 例：振り返りの会を開催した	①前述のメディア取材や中間発表会、ビジネスコンテストでの発表機会における資料づくりを通し、第三者視点での活動の見え方を振り返り、社会的ニーズへの合致を検証 ②防災関係者に対して自身の活動を説明する機会を複数設け、フィードバックをいただいた

今後の活動予定・今後の展開 <u>今後の活動予定や、このプランの今後の展開について、200字～600字程度で記載してください。</u> 写真や図表を入れても構いませんが（文字数には含みません）、特徴的なもの2～3枚程度にしてください。	ワークショップで行ったオリジナルモンスターカード創りを更に進化 ご当地「火山モンスター」コンテストの企画 ① 期待：防災イベントの「時と場所」に縛られない ② 郷土愛の育み（防災縛りではない活動の広がり） ③ 面の展開、全国各地から生まれる災害モンスター
--	--

この項目は任意項目です。当てはまるものがあれば記入してください。



その他（PRポイントなど） これまでのセルで書けなかった内容などについてもしあれば記載してください。	世の中にはエンタメのプロが仕掛ける魅力的なコンテンツにあふれており、それらを「競争相手」にして「防災に関心の低い方々」を防災訓練に参加してもらうことは非常に困難でした。 私は発想を逆転し、「防災に関心の低い方々」が集まる場所・イベントに防災教育を出前のように届けられるよう、防災教育コンテンツを子供が喜ぶエンタメにカモフラージュさせ、子供の参加をキッカケに保護者も含めたファミリー層へのアプローチに努めました。
--	---

チャレンジプランを実践しての感想・実行委員会等へのご意見

この項目は審査対象になりません。

任意項目ですので、当てはまるものがあれば記入してください。

チャレンジプランを実践しての感想・想い チャレンジプランを実践して、どのような感想・想いがありますか。率直なお気持ちなどを教えてください。	私は4年前から防災教育に取り組み始めたばかりの若輩者ですが、チャレンジプランに採択いただき、実践いただくことで、非常に多くの防災教育関係者とお話をする機会を得ることができました。長年防災教育に取り組まれてきた諸先輩方の魅力的な活動・団体とつながることができ、様々なアドバイス・ヒントをいただきました。また多くの方々から当方が創る災害モンスターへの応援と期待をいただき、1年間の活動をするうえで大きな原動力になりました。
---	--